

# まちづくりコーディネーター通信



定例ミーティングの様子

令和5年3月発行

## 1年のまとめ

長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響に翻弄した年でもありましたが、少しずつ様々な制限も緩和され、「Withコロナ」と言われる中で、必要とされるコーディネーターを目指し、各地域での各種諸会議や、地区まちづくり推進委員会、まちづくりセンターが取り組む事業等へ積極的に参加し、皆さんとの「関わり」を深めてまいりました。

また、まちづくりコーディネーターのミッションのひとつである『地区まちづくり推進委員会の設立支援』においては、未設立の町内へのヒアリングをとおし、会議等による意見交換、事業実施等のサポートを行い、少しずつ設立への動きが生まれているところです。詳細については、2～4ページをご覧ください。

それらの取組をより効果的に進めるため、今年度よりまちづくりコーディネーター間や担当課との情報共有を図るミーティングを週1回（原則月曜日）行ってきました。また、このミーティングを重ねる中で、担当課だけでなく、関係各課ともお互いにまちづくりに関する意見を交わし、少しずつではありますが、課を越えた連携体制ができるような予感がしています。こうした話し合いを今後も重ねながら、伴走や後押しのあり方、またその質の向上につなげ、関係者の皆さんから信頼され、頼られるコーディネーターを目指してまいります。

まだまだの面はありますが、誰もが住みたい、住んで良かったと思える魅力あるまちづくりへの伴走支援に取り組んでまいります。

## 目次

1年のまとめ	1
コーディネーター コラム 毛利	1
地区まちづくり推進委員会の設立に向けて	2
浜田地区の設立に向けた主な動きについて	3
石見地区の設立に向けた主な動きについて	4



コーディネーター コラム  
文)毛利美和子

## ふるさと学習会



吉原さんのお話を熱心に聴講する参加者のみなさん(雲城まちセン)

金城町で実施されている「ふるさと学習会」は、金城地域の6つのまちづくりセンターが年2回の担当で、毎月1回実施されています。当初は金城町の歴史の学びが主でしたが、地域に必要な事、安心・安全な暮らしの情報、新しい制度の情報、時の人のお話等、内容は広がりを見せています。各センターがアンテナを張り巡らし講師に依頼しています。新しい知識や情報、感動するお話等もあり、地域からの参加者も多いです。このような有意義な活動を身近にあるまちづくりセンターが、生涯学習事業として実施されるのは、ぜひ長く継続して欲しいと思います。



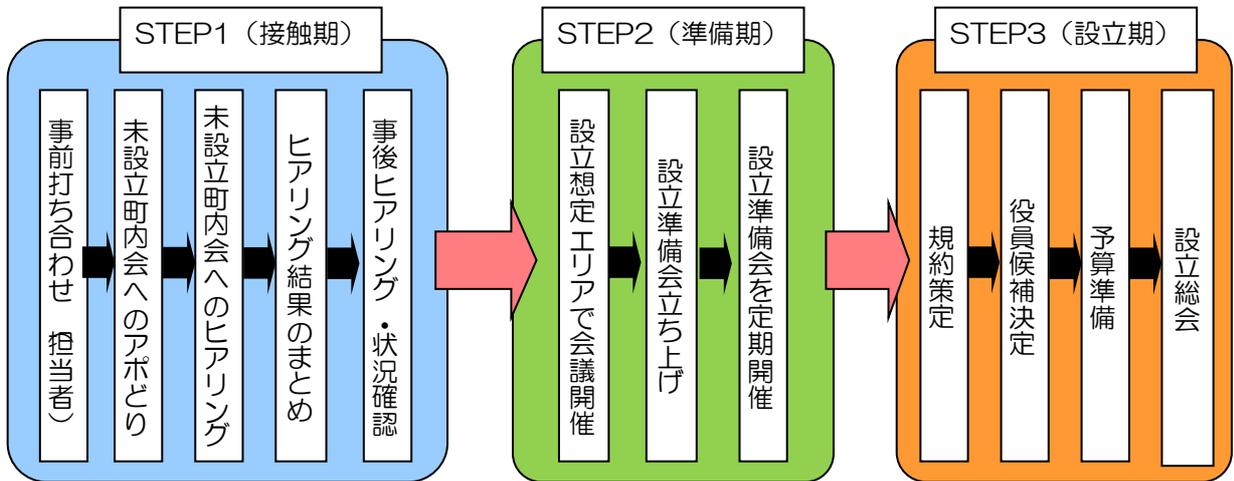
令和5年1月18日(水)  
演題「継ぐ」  
講師  
有限会社 吉原木工所  
代表者 吉原 敬司 様

# 地区まちづくり推進委員会の設立に向けて

まちづくりコーディネーターのミッションの1つとして、地区まちづくり推進委員会の設立を支援しています。

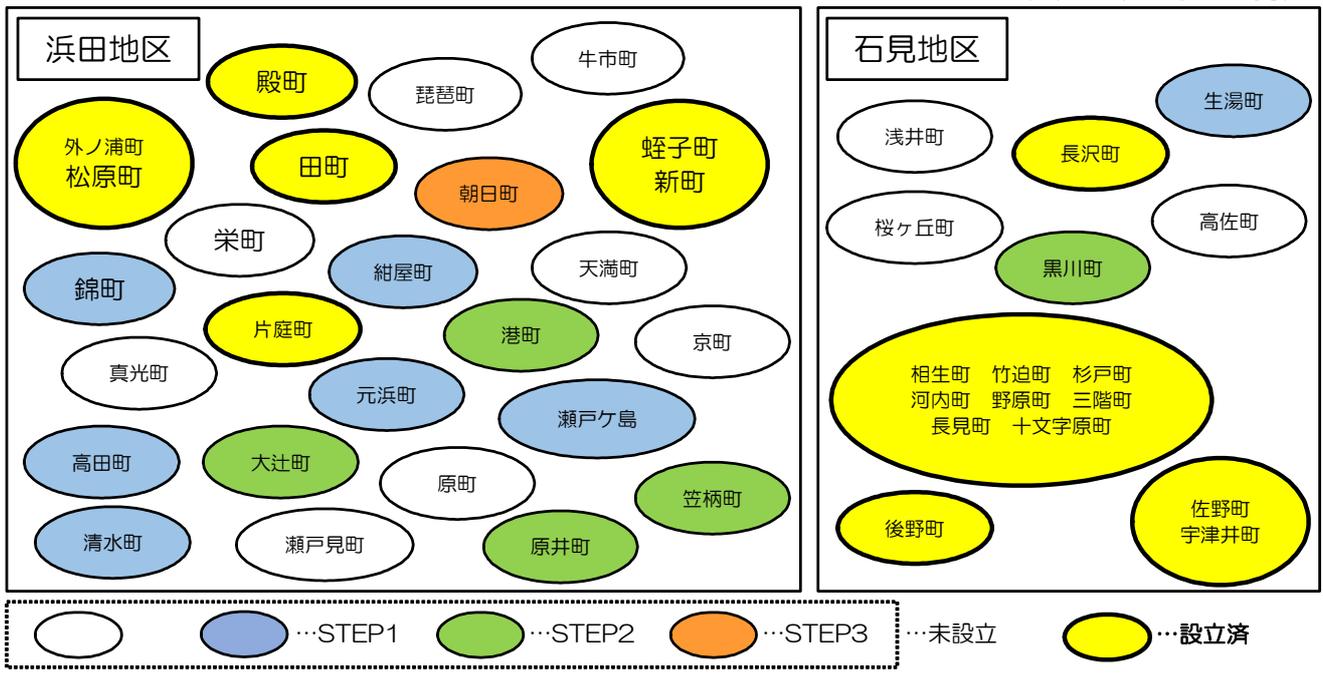
現在、浜田地区と石見地区に未設立の町内があり、関係課及びまちづくりセンターと連携し、日々設立に向けて活動しています。

地区まちづくり推進委員会が設立し、活動が軌道に乗るためには、設立の前段階で、住民の皆様のごさまざまな意見や考えを出すことのできる場をつくり、それが少しずつ形になっていく過程が重要です。地区まちづくり推進委員会の設立は、手段のひとつであり、『まちづくり』が進むためには、その過程をとおして、関わる方々が楽しみながら新たな気づきや学びを共有し、意識が少しずつ変化していくことが大切です。



地区まちづくり推進委員会の設立状況（浜田地区・石見地区）

令和5年3月1日現在



## ◆◆浜田地区の設立に向けた主な動きについて◆◆

【港町】 町内数：8 世帯数：465世帯 高齢化率：31.52%（2月末時点）

### ○『港町町内会長会議（意見交換会）』

- ・令和3年4月より、毎月実施（18回開催）しています。令和5年3月より、『港町連合会』と名称を変更し、継続していく予定です。
- ・主な参加者：各町内会長、まちづくりセンター職員、まちづくりコーディネーター

### ○アンケート実施

- ・令和3年8月に、港町全世帯を対象に、アンケート調査を実施しました。

### ○港町合同事業『防祭』の開催 **初**

- ・令和4年11月19日（土）に、港町全体で初となる防災事業が開催されました。会場は、原井小学校。主催は、港町各町内会長等で構成する『みんなとまちづくり実行委員会』。当日は、実行委員会のメンバーのほか、民生児童委員、浜田社会福祉協議会、浜田医療センター附属看護学校、リハビリテーションカレッジ島根、浜田市防災士会等がスタッフとして参加しました。



- ・初のイベント開催後、振り返りの会を実施し、反省点も多く出ましたが、「町内を越えて話ができるようになった」「全年代を巻き込んで、住民が繋がっていきたい」「楽しみながらステップアップしたい」など継続した活動を希望する声があり、今後は組織化に向けた協議を進めることとなりました。

【大辻町】 町内数：3 世帯数：138世帯 高齢化率：59.53%（2月末時点）

### ○『大辻町会長会』

- ・令和4年5月より、各町内会長が集まり協議を始めています。令和4年6月より、毎月第三木曜日に定期的に集まる『大辻町会長会』を開催しています。市内中心部にあって、高齢化率60%を超える状況にあり、後継者育成に悩む共通した課題があります。
- ・三つの町内は連合し、自主防災で繋がっていく必要性を各々確認しているため、令和5年4月の個別町内の総会において、町内会員に説明し、理解を得て進めていくこととなっています。

### ○アンケート実施

- ・令和4年8月に、全世帯を対象に「防災・防犯」をメインとしたアンケートを実施し、結果についても全世帯へ共有しました。

### ○大辻町合同事業『防祭』の開催 **初**

- ・令和5年2月18日（土）に、浜田まちづくりセンターの協力を得て、大辻町にあるJFマリンバンクを会場に、大辻町三町内合同で初開催となる防災行事『防祭』が開催されました。
- ・大辻町の人口の約1/3となる44人が参加し、防災の講話、消火体験、救急シュミレーション等を行いました。実施後のアンケートでは、97%がまたこのような行事に参加したいと回答されました。



## ◆◆石見地区の設立に向けた主な動きについて◆◆

【黒川町】 町内数：13 世帯数：667 高齢化率：34.80%（2月末時点）

- 『黒川町のまちづくりを考える会』（令和3年7月、令和3年11月）
  - ・黒川町のすべての町内（13町内）の代表、石見まちづくりセンター職員、まちづくりコーディネーター、担当課職員が参加し、令和3年7月と11月に会議を2回開催しました。
- 『黒川まちづくり設立準備会』
  - ・黒川町の13町内の内、6町内が参加し、令和4年3月に発足
  - ・毎月第2月曜日に準備会を開催することを決定し、令和5年2月末時点で11回の会議を開催されています。
- 黒川まちづくり設立準備会主催事業の実施
  - ・『活動を通して地域のコミュニケーションを広げる』をテーマに、以下の2つの事業を実施されました。
    - ①『藻塩づくり体験』 令和4年6月  
参加者 親子28名 スタッフ13名 合計41名
    - ②『アクアス見学会』 令和4年9月  
参加者（65歳以上の方）9名 スタッフ12名 合計21名
- 令和5年度に向けての取組
  - ・黒川町内のすべての町内に設立準備会の趣旨を説明するため、未加入の町内会の総会（令和5年3月～）に準備会メンバーで出席できるよう調整中です。その際に、併せてアンケートを行い、今後の取組の参考とする予定です。



【生湯町】 町内数：6 世帯数：323 高齢化率：38.57%（2月末時点）

- ヒアリング実施 令和3年12月
  - ・まちづくりコーディネーターが生湯町内の6つの町内会長にヒアリング。各町内の活動状況の聞き取りや関心の高そうな分野等について検討しました。
- まちづくりセンターとまちづくりコーディネーター等が連携した取組
  - ・令和3年度のヒアリングの状況等を石見まちづくりセンターと共有、今後の対応について協議する方向を決めました。
  - ・ヒアリング等で「自主防災組織」の設立に意欲を見せた町内に対して、防災出前講座の実施を提案し、以下の出前講座の実施に繋がりました。
- 『出前講座』開催（生湯町4-1町内） 令和4年7月
  - ・スタッフ 防災安全課、石見まちづくりセンター、まちづくりコーディネーター  
参加者 約20名

通信へのアンケート



左のQRコードを読み取り、本通信へのご意見をぜひお聞かせください！いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます！



浜田市地域政策部  
まちづくり社会教育課

【電話】 0855-25-9204

0855-25-9007

（CN執務室）

【FAX】 0855-23-1866

【メール】 manabi@city.hamada.lg.jp